

Comando G

コマンド ジー

品質への飽くなき拘りを感じさせるピュアでエレガントなガルナッチャ



～コマンド G はスペインで最もエキサイティングなワイナリーの一つ(ワイン・アドヴォケイト)～

かつてのプリオラートのような勢いを感じさせる卓越したグルナッシュの産地、スペインのシエラ・デ・グレドス(シエラ山脈)。この地域で、世界トップクラスのガルナッチャを手掛けているのがコマンド G です。これまでにワイン・アドヴォケイトやジェームス・サックリングで 100 点を幾度も叩き出してきたコマンド G のワインは、その実力の高さから注目を集めています。

コマンド G は、醸造家ダニエル・ゴメス・ヒメネス・ランディとフェルナンド・ガルシアが共同出資して DO ビノス・デ・マドリッドに 2008 年に設立したワイナリーです。ふたりの出会いは 2005 年、マドリッド大学で醸造学を学んでいた頃でした。当時は、各自が別々のワインプロジェクトに取り組んでいましたが、醸造哲学やワインの好み的一致で意気投合したふたりは、すぐに共同プロジェクトを立ち上げることを決めました。彼らは、コマンド G を設立するにあたり、ブドウの育つ土地、風景、畑のアイデンティティを反映したワイン造りを目指してきました。この目標を達成する手段として選ばれたのが、グレドス山脈の高地に育つ極めて樹齢の古いガルナッチャの畑です(コマンドGは、ガルナッチャの「G」)。テロワールの忠実な表現に拘って生み出されるコマンドGのガルナッチャは、フレッシュでピュアな果実味が際立つエレガントなスタイルを特徴とします。

ワインは、ブルゴーニュの格付け制度にあやかり、リージョナル(AOC ブルゴーニュに相当)、ヴィラージュ、プルミエクリュ、グランクリュの 4 つに格付けされています。自社畑は、グレドス山脈で最も険しい地形と厳しい自然条件を持つ地域にあり、海拔 900～1200 メートルの地帯の山間の斜面に位置し、畑によっては、極めて急勾配で畑仕事は困難を極めます。耕作は主にラバを使いますが、場所によっては手作業のみで耕作します。樹齢は 60～90 年で、中には接ぎ木をしていない自根の古木もあります。栽培手法は、有機・ビオダイナミ栽培を実践。醸造は手作業主体の伝統的手法を守り、人の手による干渉を最小限に抑えています。

情報■ ワイナリー所在地:スペイン内陸部カスティーリャ・イ・レオン州シエラ・デ・グレドス

栽培:有機・ビオダイナミ栽培 畑面積:計 15ha 畑の標高:900-1200m 樹齢:60-90 年 収穫:手摘み 発酵:100%ホールバンチ、40-60 日間に及ぶ長期間のマセラシオンを行い、木桶を使い天然酵母で自然発酵 熟成:使い古した小樽、ドゥミ・ミュイ、フードルまで様々なサイズの樽やアンフォラ、コンクリートタンク等を使用。

《ワイン・アドヴォケイト 2024/11/22 掲載記事より抜粋/記者:ルイス・グティエレス》 2022 年(地中海性気候の特徴が顕著に表れた濃厚なヴィンテージ)と 2023 年(エレガントでフレッシュ、かつ正確さを備えた冷涼なヴィンテージ)のワインをテイastingした。2022 年はエル・レベントンの単一畑のキュヴェが作られた最後のヴィンテージで、新しいブドウの樹を植え、新しいワイナリーの建設を開始した年でもある。2023 年は、真新しいワイナリーで醸造された最初のヴィンテージ。2024 年は、さらに進展があり、植樹は続けながらも、リージョナルワインを減らし、購入したブドウを中心にヴィラージュワインを増やしている。現在、ルンボ・アル・ノルテ近隣の自分たちの畑を整備しているところだ。

2023 La Bruja

ラ ブルハ

上代価格 ¥6,000 (税抜)

JAN:4543190305853

コマンド G のエントリーレベルでありながら、2012 年以来、パーカーポイント 90 点以上の高評価を獲得している実力派ワイン。2022 ヴィンテージより、ラス・ロサス・デ・プエルト・レアル村ではなく、アビラ(セブレロス)のブドウを使用。ヴィラージュからリージョナルワインに変更になりました。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 産地:アビラ (リージョナルワイン/ D.O.P. セブレロス)

Alc.14% 生産本数:40,943 本(750ml)、500 本(1.5L) 瓶詰:202 年 8 月

★パーカーポイント 95 点:2023 年のラ・ブルハは、マドリッド産ではなく、100%セブレロス産となった。そのため、生産本数が減り、2024 年はさらに少ない(20,000 本)。このワインは、2021 年を肉付き良くしたよりジュシーな味わいで、還元的ではないものの、石を思わせるニュアンスがあり、繊細なストラクチャーを備えている。よく熟した味わいで、香りと味わいが徐々に開いていき、花や赤果実、ハーブのクリーンなアロマが広がっていく。見事なフレッシュ感と酸を備え、バランスの良いエレガントなワインに仕上がっている。《飲み頃:2024-2032 年 | 2024/11/22 掲載》

★ジェームス・サックリング 93 点:赤果実や鉄の香りに焼いたグレープフルーツ、燻したハーブのニュアンスが香る。しっかりとしたミディアムボディで、チョーキーなタンニンがあり、ハーブやレッド・ベリー風味を持つ。非常に親しみやすい味わい。今が飲み頃。《2024/9/30 掲載》



担当: @millesimes.co.jp

株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801

Fax.03-3295-5619

Millésimes

2023 Navatalgordo

ナバタルゴルド

上代価格 ￥10,000 (税抜)

JAN: 4543190305877

2022 年からナバタルゴルドの村で造られるヴィラージュワイン。自分たちが育てたブドウと購入したブドウ(標高約 1,100mの畑で栽培)を使用しています。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:ナバタルゴルド(ヴィラージュワイン/ D.O.P. セブレロス) 土壌:石英を多く含む。醸造:コンクリートタンクとオーク樽で全房発酵させ、35~40 日間マセラシオンを行い、コンクリートタンクとオークの大樽で熟成。生産本数 9,9650 本 2024 年 8 月瓶詰

★パーカーポイント 95+点: ヴィラージュワイン、2023 年ナバタルゴルドには、石の多い、石英を含む土壌が広がる同村の 5 つの異なる畑または小区画のブドウ(その多くは、いつも取引しているところから購入したもの)を使用している。石のニュアンスが漂う個性的なワインで、スミレやスミレのキャンディを思わせる芳醇なアロマと見事なグリップ感が印象的。オーク樽で熟成させることで繊細なタンニンに仕上げている。非常に完成度が高く、グラスの中できれいに花開いていき、ビジャヌエバのワインよりやや渋みがある。ヴィラージュの赤の中でもタンニンが顕著だ。《飲み頃:2025-2034 年 | 2024/11/22 掲載》

★ジェームス・サックリング 94 点:キイチゴを思わせる開放的なアロマを持ち、香り高く、深みのあるスモーク香やアガベ(リュウゼツラン属の多肉植物)、ホワイトペッパー、ベルガモットのニュアンスが香る。メスカル(メキシコ特産の蒸留酒)が好みなら、類似点に気付くだろう。豊かな果実味が広がる円やかな口当たりで、チョーキーなタンニンに富む。しっかりとしたストラクチャーを持つ赤。今が飲み頃。

《2024/9/30 掲載》



2023 Rozas

ロサス

上代価格 ￥10,000 (税抜)

JAN: 4543190305891

年ごとに様々な表情をみせるロサス・デ・プエルト・レアル村のヴィラージュワイン。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:ロサス・デ・プエルト・レアル村の 5 つの区画(ヴィラージュワイン/ビノス・デ・マドリード D.O.) 土壌:花崗岩 生産本数 11,298 本 2024 年 8 月瓶詰

★パーカーポイント 95 点: ロサス・デ・プエルト・レアル村のヴィラージュワイン、2023 年ロサスには、平均標高 900m に位置する合計 5 ヘクタールの 5 つの異なる畑(花崗岩土壌)のブドウが使用されている。ザクロやイチゴのアロマを備えた豊潤な味わいで、チョークのようなパウダリーな質感を持つ。クリーンで味わい深い。2023 年ブルミエ・クリュ(2 つの最良畑の厳選されたキュヴェ)は来年試飲することになるだろう。《飲み頃:2024-2032 年 | 2024/11/22 掲載》

★ジェームス・サックリング 94 点:スモークやハーブ、ザクロ、仄かなブランブルベリーを思わせるアロマ。チョーキーでしっかりとした味わいは、噛み応えがあり、しっかりした粒子のタンニンやスモーク香、焼いたグレープフルーツのニュアンスを伴うピュアな余韻がどこまでも続く。今飲んでも熟成させても美味しく味わえる。《2024/9/30 掲載》



2022 Peña La Mora 1er Cru

ペーニャ ラ モラ プルミエ クリュ

上代価格 ￥20,000 (税抜)

JAN: 4543190305907

標高 1200m に位置するエル・タンボリルの区画で造られるプルミエクリュ。果実の凝縮感とミネラルを備えた力強い味わい。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:ナバタルゴルド エル・タンボリルの区画(プルミエ クリュ/ D.O.P. セブレロス) 標高:1,200m 栽培面積:1.17ha 土壌:花崗岩 生産本数 4,239 本 2024 年 5 月瓶詰

★ジェームス・サックリング 96 点: グレープフルーツやミネラル、ベリーのアロマに心地よいペッパーのニュアンスが香る、快活でやや華やかなスタイル。コマンド G の他のクリュのよりも深みのある色合いで、エル・タンボリルの赤に近い。肉付きの良い贅沢感のある洗練された味わいで、瑞々しい後味にミネラル感やしっかりとしたタンニン、チョーキーさを感じる。ピュアでききりとした余韻がどこまでも続く。今飲んでも熟成させても美味しく味わえる。《2024/9/30 掲載》

★パーカーポイント 95 点:エル・タンボリルにあるため、いくつか類似点があり、凝縮感、肉のようなニュアンス、酵母、赤いチェリーの風味を持つ。ナバタルゴルド村は粗目の、ややイタリア的なタンニンを備え、2022 年にはまだだがフレッシュ感がある。力強いワインではあるが、標高が高く冷涼なため、その特徴がワインにも表れている。グラスの中で開くまで時間が必要だ。

《飲み頃:2025-2033 年 | 2024/11/22 掲載》

